い結ま駅サ 晴の翌に朝み生っ験たつすり姿全成1共 まをさ馬伝ま果す伝ポ普ら練日あ食、でたは。や。がな力績区に女し勝れ事競第しで。チー段し習にりの努何こ、こ態ま自どでを区入子たちま公走68たすまートのいにはが準力にと結の度た分特選収間賞が。抜し苑大回。。さるを練まれ、と備で対で果特も人の設手め賞、第 いたり会福 すまートのいにはが準力にと短い度にの設手め賞、第 。さムを練実取、と備で対で果特も、の設手め賞、第 応しのし習践り新うやきしし以設し会役駅のまと深5 援く皆てや力組たご送るてよ上活ったを部ポたう凜、 はい木でんなざ迎こもうに動か空里号に、大桜男 いた内会福た。特が島 援く皆てや力組たこ歩っても二日ったを部ポたう凜 、『様い大でんなざ迎こもうに動か宿果員 | 必要 あチにた会すで目いなと前。大をり舎た19ト死妻とり | 感だ当。い標まどと向こきやしでし名・にませる。 男県設15県 女内駅へ中 各6伝水学 33地コン校 校区 | に体 走晴が第 し向たいいにか自遂てのた一応走時が第 たけ。間ま取ら信げいあ結人援ることは 。、大木すりのとたまい里ひまることは と泉申たの がのス南育

。、大本すりのとたまい果ひす姿し子位 素朝会当。組人な経しさでとる。い第で **ご**一上崎援 ざのげ村・ て度サし装大しを 取まはににた全 体白き反ルたも道な何学りた必取り。体合で樺明 りゲ発護 まー表犬自 🛛 🕊 ま省を。見具が度年組全ずり一毎が唱取祭日

チ全で習 合 ヤ校学と 発 - エスティー ゲでだ習<mark>る</mark> ーこ旅 ム緒と行 》にをで もや劇の あるで保

いし室科ジ

°ま前・ンそ

ぜ・科レ

ひワ・モオ

ご|国ニ|

覧ク語ープ

にセ科 `二

なンの美ン

つタ作術グ

て丨品科・

くにを・ク

だ掲理技口

す廊家グの

下庭セ他

う崎し泉応

し会催市駅 5 X 2465 IJ 回 が 記笑 憶顔 白 樺 祭 発行責任者

子

祝

大会男女人

出予で相大

場選開馬会

に

る

祭

残仲 10月17日(金) 第 2 2 号 間 を 白信 泉崎中学校長

0

健

角田敏文

ど ŧ た ち が

週

(1)

行

事

予

定

校

表作へい不にす 品劇劇思陥ず でのや議っの 。合Bなた**不** 間G出ア思 にM来リ議 に 流で事ス**な** 流で事ス**職** 加しまれ れ表をと**場** る現クす ンパイタ**体** Cしオず**段**

 $^{\circ}$ ۲

つなた。上棒祭

り祭

校す

全

道もしジ中友 具あたンに**情** n 衣ま演を劇**魔** 装す技基団**法** きまれて 注たで一で 目、なか鑑!!

どを合主各

自確わ的パでり

的し後練トま学

なてに習毎し級

主認せにしき

『とうん休 特ま生映て 器で作歌作し 『73はすテ体 『アピー でい思なみ歌設すの画きコ楽くりやりた修 ラギ 『 って 『 って いでにが る 。 メハたン部だのダ上『学ジ発のた高る難と で励練大唱現リウ大ク発さ大ンけて旅ン表作、いると す。ジバけね仲 ラジ曲た 最ン城にめ を一つ合て間 後 仮ドのに つきで で ド て ま 5 て し 月 で演歌€を 楽大くたか し丈と°ら す奏っと続 く夫いみ昼 26 25 24

さ示科術」 でせ し自 きん結 てく分明 。果 ほ笑ら日 過みが し顔しは 程ん全 いでく で歌 がな 7 すっ泉人 大でで 切取は て崎ひ 中上 なりあ ん組り 発生り 表らが でんま

26	25	24	23	22	21	20
日	土	金	木	水	火	月
村文化祭	漢字検定	3年実力テスト	3年学習会(数学) 進路説明会	NO部活動デー	3年学習会(英語) 進路指導委員会 朝会	振替休日

教 育 目 標

0 0 し思 自 ß び ٧ る

生

よい 康 ゃ う とり すが 極 るあ 的 を 生り な 語 徒 徒 生 IJ 共 徒 合 に う 成 学

けごトジホこ ま覧フがーの すいオスムQR 。 たンマペか .. だで丨丨ら **回保**



長